

平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

平成 30 年 9 月期第 2 四半期累計期間連結業績の前年同期実績からの差異
 に関するお知らせ

当社は、連結業績予想を開示しておりませんが、平成 30 年 9 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 9 月期 第 2 四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利 益
前年同期実績(A) (平成 29 年 9 月 期第 2 四半期)	4,984 百万円	2,071 百万円	1,873 百万円	457 百万円	12.94 円
今回発表業績(B) (平成 30 年 9 月 期第 2 四半期)	4,943 百万円	840 百万円	770 百万円	46 百万円	1.30 円
増減額(B-A)	△40 百万円	△1,231 百万円	△1,102 百万円	△411 百万円	—
増減率 (%)	△0.8%	△59.4%	△58.9%	△89.9%	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、SME ローンに係る売上高を保守的に回収ベースで計上することに起因し、前年同期実績より 40 百万円減少し 4,943 百万円（対前年同期実績 0.8%減少）となっております。

営業利益につきましては Digital Finance 事業の将来の成長に資するための投資的費用を投下したことから、販売費及び一般管理費が 1,061 百万円増加（対前年同期実績 46.4%増加）したことに伴い、1,231 百万円減少し 840 百万円（対前年同期実績 59.4%減少）しました。

経常利益は上記の要因により 1,102 百万円減少し 770 百万円（対前年同期実績 58.9%減少）となっております。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記の要因に加えて法人税等合計額が相対的に大きくは減少しなかったことから、411 百万円減少し 46 百万円（対前年同期実績 89.9%減少）となっております。

以 上